

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第45号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年3月3日 08時07分ごろ	
発生場所	長崎県新上五島町所在関掛瀬北方灯標より真方位268° 2,650m付近 （概位 北緯32° 51.4′ 東経129° 00.5′）	
事故等調査の経過	平成21年4月2日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 ニューたいよう、102トン 136405、五島旅客船株式会社 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷主機排気マニホールドの排気エルボ接続部ボルト穴付近にき裂	
事故等の経過	本船は、平成21年3月3日08時07分ごろ、新上五島町若松島土井ノ浦鼻西方で、右舷機Bバンクの排気マニホールド出口側に取り付けてある排気エルボ接続部ボルト穴付近より、冷却水が多量に漏洩した。 左舷機のみで土井ノ浦港に入港して、以後の便を欠航し、修理を実施した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 排気エルボにき裂が発生していた。 排気エルボを取り付ける際、取付けボルトが片締めされたため、き裂が発生した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が航行中、右舷主機排気マニホールドの排気エルボにき裂が生じたため、右舷主機の運転が阻害されたことにより発生した可能性があると考えられる。	